

政治判断での実現訴え

公明・斉藤
幹事長来県

「新産業つながらる」



「ILCをぜひ日本に誘致すべきだ」と訴える斉藤鉄夫幹事長

公明党の斉藤鉄夫幹事長は9日、盛岡市内で報道陣に対し、国際リニアコライダー(ILC)の国内誘致について「日本学術会議の答申も参考にしながら、最終的には政治が決めてはくれない」と述べ、政治判断による実現を強く訴えた。

斉藤氏は「日本学術会議がどんな意見を出してくるかがポイントだが、ある意味で会議はいろいろな分野の研究者の集まり。研究費という意味では利害関係者の面もある」と、政治が判

断すべき案件だと強調した。

これに先立つ同党県本部の政経懇話会では、約500人を前に「国際宇宙ステーション(ISS)は米国、国際熱核融合実験炉(ITER)は欧州が中心になっ

て進み、3番目のILCは当然、東アジアに置くべきだというのが世界のコンセンサスと思う」と指摘。最先端の知識だけではなく、いろいろな新しい技術が生まれて、新産業につながる。ぜひ日本に誘致すべきだ」と述べた。

島根県出身で、衆院比例

中国選出の斉藤氏はILCを推進する国会議員連盟のメンバーでもある。岩手、宮城両県にまたがる北上山地(北上高地)が国内の建設候補地に一本化された経緯に触れ「西日本関係の議員はどつと脱退したが、私はしなかった」と実現の意義を重ねて強調した。

政経懇話会には同党の井上義久副代表も出席。来夏の参院選について「国益を守る上で、政治の安定が最も大事だ。自公連立政権が多様な民意を反映して安定した政権運営につながっている」と支持を呼び掛けた。

市町村議会

10日

ILC誘致へ 「最大限努力」 市長

【奥州市】原発事故に伴う東京電力への損害賠償請求の和解案など34議案を可決。佐藤都夫(無党派)、加藤清(新奥会)の2氏が一般質問した。

国際リニアコライダー(ILC)の誘致について、小沢昌記市長は「市民一人一人の意思で書かれた6万超の署名は(住民理解を)証

ILCリスク対策 「市の言及不適切」 市長、セミナー要請へ

【関市】永沢由利(二政会)、藤野秋男(共産)、門馬功(清和会)、佐藤敏一郎、千田良一(一政会)の5氏が一般質問した。

国際リニアコライダー(ILC)の誘致に伴うリスク対応について、勝部修市長は「専門家が検討している段階で、市が具体的な対策に言及するのは適切ではない。9月に東北ILC準備室が専門家によるILC解説セミナーを開いており、同様のセミナー開催を関係機関や研究者に求めていく」と述べた。

自民東北県連と 道連が実現要望

鈴木氏ら官邸訪問

【東京支社】自民党の北海道連と東北各県連は10日、連名で政府へ国際リニアコライダー(ILC)の建設実現を要望した。

本県の鈴木俊一常任顧問(衆院岩手2区)、岩崎友

一幹事長らが官邸を訪れ、西村康稔官房副長官に要望書を手渡した。

内容は▽日本誘致に向けた前向きな方向性、海外パートナー国との投資や人材の国際分担に関する基本的考え方を早期に明示する▽学術だけではなく、国際科学技術イノベーション拠点の形成、民間活力を伸ばす成長戦略、震災復興

などの観点から可能性を検討することなどを求めた。

出席者によると、西村氏は「首相や官房長官と相談したい」と述べたという。岩崎氏は要望後「この枠組みで要望するのは初めて。ILCの重要性やわれわれの思いは十分に伝わっている。今後も粘り強く政府に働き掛けたい」と語った。